

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
http://www.dosyakyu.org/

第127号

写真道展大賞に中神由美子さん「光の刻」

第62回写真道展審査会報告

■応募の状況

第62回写真道展、第33回学生写真道展の審査会が2月28日、3月1日の両日北海道新聞本社において行われ、駒井千恵子氏を審査委員長に、写真道展審査会員のほか招聘審査員の写真家2名を加えた28名の審査体制で厳正に進められました。学生写真道展への応募者数が484名、応募点数1214点と年々増加の二途でいずれも過去最高の数となりましたが、作品をテーブルに並べきれない状況は初めてのこと、主催者としても嬉しい限りです。本展への応募は応募者数447名、応募点数が5653点で、第61回に比べるとわずかに減少しました。しかし、そのような中でも第一部(自由)応募点数については今回も増加していること、また昨年同様、一人当たりの応募点数が増加傾向にあることも特長として挙げられます。審査会は、一日目、学生展の審査から始まり、学生展では若々しい感性に刺激を受けながら第1次、第2次審査を



審査風景

を経て167点に絞られ、第3次審査で入選以上の60点が決まりました。その中から第33回学生展の審査委員長・経塚剛敏氏により、宇田渉平さん(旭川東高)の「Light and Shadow」が北海道知事賞に選ばれたほか、9点の入賞作品を選考して学生展の審査を終了しました。

■審査は整然と厳正に進行

午後からは本展の第一部(自由)、第二部(観光・産業)、第三部(ネイチャーフォト)の1次・2次審査が行われました。引き続き武藤省吾写真協会会長を選考委員長に10名の選考委員で会友奨励賞の選考が行われ、58点の会友作品の中から会友奨励賞は小泉和子さん(小樽)の「素敵な人」に決まりました。また準奨励賞には田澤康史さん(奈井江)、吉仲功さん(幕別)の作品が選考され、過密なスケジュールの中一日目の審査を終了しました。

二日目は写真家の岸本日出雄氏、小松ひとみ氏を迎えての審査です。前日の審査に続いて各部の第3次審査を行い、類似作品、作品の重複の調整等の後、第4次審査を行い、入選以上となる総数269点の作品が決まりました。さらに第5次、第6次審査を経て、全審査員の記名投票により入賞作品が絞り込まれ、全審査員が見守る中、大臣賞に決定した第一部 巖田祥健さん(岩見沢)、第二部 中神由美子さん(札幌)、第三部 笠井竹志さん(釧路)の作品を前に、駒井審査委員長が中神由美子さんの「光の刻」を第62回写真道展大賞に選び、審査員一同から拍手の中、全審査を終了しました。終了後、招聘審査員の一人、小松ひとみ氏(秋田)からは「サンピラーのような北海道らしい作品をイメージしてきたが、(良い意味で)期待は裏切られ、感動した」と写真道展の深化をうかがわせる感想をいただきました。

最後に二日間にあたり審査にご尽力いただいた審査員、関係者各位に心から感謝申し上げます。

写真道展実行委員長 山下 智(記)

心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。
旅の出会いはフォトジェニック。
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは
TEL(011)241-6401

ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

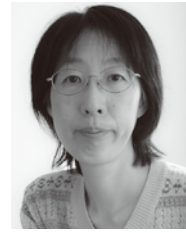
営業時間	
月～金曜日	9:30～18:00
土曜日	9:30～12:00
日曜日・祝日は休業	

旅行企画・実施
安心と信頼の

道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

驚きと喜びと！——第62回写真道展



写真道展大賞

札幌支部

中神由美子

北海道の魅力を発信

このたびの大賞受賞を驚きとともに心より嬉しく思っております。
写真道展の入賞入選、会友、会員のみなさまの作品には北海道の良き、素晴らしさが凝縮されており、毎年興味深く、楽しく拝見させていただきます。



第62回写真道展大賞・国土交通大臣賞 「光の刻」

第62回写真道展

日々の暮らしに紛れて忘れてしまいがちな北海道の魅力を、ここに暮らす私たちが発信し続けることの価値を再認識しつつ今後も応募させていただきたいと思えます。

北海道写真協会の皆様には日ごろよりお世話になりたいへん感謝いたしております。北海道のアマチュア写真界をリードする存在として、また北海道の文化を担う存在として、末永く発展されますことをお祈り申し上げます。



会友奨励賞

小樽支部 会友

小泉和子

街頭風景に目覚めて…

思いもよらぬ会友奨励賞ありがとうございます。未だに喜びと戸惑いが交錯して何事も手につきません。

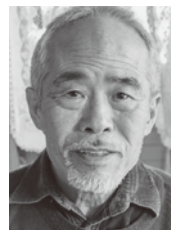
作品は昨年9月札幌駅に降り立った際、大丸デパート壁面に張った大きな女性のポスターの下で携帯電話をかけている女性をみかけ「素敵な人」だとわくわくしながらシャッターを切ったものです。



第62回写真道展 会友奨励賞 「素敵な人」

登山の思い出や可憐に咲く美しいお花を撮りたいと始めたのがきっかけでしたが今は山や海そして街頭風景にとりつかれ毎日楽しんでいきます。

これも作品を通じて出合った方々のご指導の賜物と感謝しております。今後も人との出会いを大切に微力ながら撮り続けたいと思います、ありがとうございます。



2年連続3部門入選

岩見沢支部

木村 克己

ジャンルにとらわれず

昨年3部門入選の知らせを受けたときは、驚きと喜びでいっぱいでした。

今年も3部門入選の知らせを受けしはらくは信じられませんが、時の経過とともに大きな喜びとなりました。

写真を撮始めて10年になりますが、素晴らし

いプレゼントを頂いたと思い、これからの大なる励みとさせていただきます。

これもひとえに御指導いただき先生をはじめ、良き写友に恵まれたおかげと感謝の気持ち一杯です。

これからも健康に、気をつけてジャンルにとらわれることなく身近な被写体を探して楽しく、長く、撮って行きたいとおもいます。



初入選

札幌支部

小賀野京子

芸術作品のある景観に感動

この度の入選を大変嬉しく思っております。作品は昨年の夏、写真仲間と芸術の森へ行った時写したものです。前庭の池に浮かぶ白い球体と岸辺に咲いた花が水に映り、素直な気持ちで「きれい！」と感動しました。

写真を撮始めたきっかけは、たまたま参加したツアーで出会った方が写真教室の先生で「少し勉強してみませんか？」とお声をかけてくださったのが縁となり、今に続いています。

道写協へ入会し三年、まだまだ得意とする分野も持ち得ていませんがご指導を頂く先生始め先輩諸氏、仲間の皆さまの支えで今日がある事に感謝しつつ、今後も健康で楽しい写真ライフが続けられますよう願っています。

支部探訪ー芦別

支部長 藪 伸一

支部誕生から今日まで

石炭産業好況期には市内に5つの写真クラブや同好会があり、それぞれ活発な活動を展開していました。しかし昭和30年代から40年代にかけての炭鉱の不況閉山に伴い、会員の転出などで多くが自然解散となりました。

そんな中でも当時の市内カメラ愛好家の杉森氏(現道展参与)・庄子氏・加賀谷氏(現審査会員)・水田氏・高橋氏(現審査会員)らが仲間を結成し活動していました。会員の増加とともにクラブを設立しようという機運が高まり、昭和43年6月1日(写真の日)に「芦別写真会」が誕生しました。後の道写協芦別支部の前身です。



例会風景

会長の庄子篤氏、事務局長に高橋正氏が就任し、会員は22名。写真を楽しむ仲間たちが、親睦を深めながら活発な活動を行っていました。また、「芦別市文化連盟」への加盟も承認されました。



昨年の芦別市民芸術祭

昭和54年2月7日には、北海道写真協会から「芦別支部」としての設立が承認され、以降活動を続けています。

支部活動の状況

平成20年頃までは、月例会を開催し各自作品を持ち寄り、顧問の先生の審査や、会員投票で1位〜5位の順位を決め、作品を評価し意見等を交わし、研鑽を行っていました。

また、各種撮影会及びコンテストの参加。支部撮影旅行・親睦と写真技術の向上を図る目的で活動を実施してきました。

現在は、高齢化や病気などで退会する方もおり8名の会員で活動を行っています。例会は年4〜5回開催し、プリント作品をそれぞれが講評しながらの研鑽や日帰り撮影会を行ったり、毎年10月には芦別市民芸術祭への参加で、全会員が出品、市民から好評を得ています。さらに芦別スターライトホテルでの定期展示と市立図書館での展示などの活動を行っています。

カメラの進化に

ここ10年位でデジタルカメラが進み、それに伴い知識、技術が進化多様化し、覚える事が多くなり、撮影以上にパソコン操作を学ぶ事も必須な状況になりつつあります。

今は撮影したものをプリントして、お互いに鑑賞することを基本として活動しています。ついこの間まではリバーサルで映写投影していたものが、今はパソコンとプロジェクターを使い、プリントもA1サイズなど大判プリントの展示もあり、薄型大型テレビで映してみたりと……。

「魅せる作品」を

今後のカメラと作品の表現方法が10年先にはどんなことになっているのでしょうか？

今回の第62回写真道展には、田村、田澤、森川、藪の4名が応募出品し全員入選がはたせ、歓喜しております。さらに今後の活動では、「見せる作品」から「魅せる作品」を撮っていければと思います。

少人数の芦別支部ですが、今後も発展を願いながら活動していきたいと思っております。

「魅せられた大雪山の四季」



トムラウシ山麓

○高橋 和幸 写真展 釧路支部

写真展 案内

写真道展予定

- 札幌道新ぎやらりー 5月14日(木)〜19日(火)
- 道内各地巡回展 14市町〜網走1月17日(日)
- 審査会員・会友展 5月21日(木)〜26日(火)
- 道写協支部長会議 5月17日(日)AM9時30分
- 写真道展表彰式 5月17日(日)PM1時30分
- 写真道展祝賀会 5月17日(日)PM3時30分

第62回 写真道展

入賞・入選作品 5月14日(木)〜5月19日(火)
審査会員・会友作品 5月21日(木)〜5月26日(火)

道新ぎやらりー・道新プラザDO-BOX

主催：道新ぎやらりー、道新プラザDO-BOX
協賛：道新ぎやらりー、道新プラザDO-BOX、道新ぎやらりー、道新プラザDO-BOX

写真道展作品集の値上げについて

写真道展作品集は「第57回作品集」から値下げし1冊3千円で購入して頂いてきましたが、以来5年が経過しました。この間販売部数の減少、諸物価の高騰、消費税の引き上げにより、予想を上回る欠損が累積され、このままでは今後継続して作品集を発刊することが難しい状況となりました。編集委員会として、その対策を年度当初から企画委員会、役員会、実行委員会等で審議、検討を重ねた結果、単に作品集の値上げだけでなく、販売部数の増加対策、作品集装丁、広告掲載社への活動等、作品集出版に関して全ての見直しを図りながら「写真道展作品集」を継続して発行することを確認した上で、出来るだけ値上げ幅が大きくなりすぎないように配慮し1冊3,500円の販売価格を決定しました。

会員の皆様には負担増となり、ご迷惑をおかけすることになりますが、趣旨をご理解の上引き続きご購入頂きますようよろしくお願い申し上げます。

写真道展実行委員会
写真道展作品集編集委員会

支部例会成績

札幌 支部長 山本隆晟

- ▽12月例会(19日) 森 哲審査員選考)
 - ①今明美②山形典夫③林繁造④奈良美弥子⑤香取征子⑥藤田万理子⑦澤田一夫⑧難波江⑨原慎子⑩松本雅彦
- ▽1月例会(16日) 坪川輝子審査員選考)
 - ①眞征子②砂澤一彦③今明美④原慎子⑤山形典夫⑥袋田祥健⑦菊地昌博⑧木全正樹⑨村上和子⑩荻田貞子
- ▽3月例会(13日) 阿部昭夫審査員選考)
 - ①安田敏彦②袋田祥健③山形典夫④荻田貞子⑤貝沼正雄⑥藤原富二夫⑦千葉久⑧山本隆晟⑨木全正樹⑩林繁造

旭川 支部長 馬場和美

- ▽1月例会(22日) 志賀芳彦・田村健太郎・福田光男審査員選考)
 - (特選)①白鳥敏昭③池田政人④吉田祥子⑤細川貞子 (入選)白鳥敏昭 田中昭一 早坂藤男 武田千枝子 吉田祥子 伊藤勝利
- ▽2月例会(5日) 田村健太郎審査員選考)
 - (特選)①吉田祥子②白鳥敏昭③田中昭一④森田正義⑤阿部三重子 (入選)田中昭一 池田政人 伊藤勝利 白鳥敏昭 阿部三重子
- ▽3月例会(12日) 福田光男・田本實審査員選考)
 - (特選)①細川貞子②白鳥敏昭③吉田祥子④佐藤敏雅⑤小山満 (入選)森田正義 白鳥敏昭 佐藤敏雅 三本芳男 浦島寛

室蘭 支部長 佐々木 昇

- ▽11月例会(25日) 山下智審査員選考)
 - ①②大坪恵子③高木妙子③成田正利③鳥海政史③田村謙次 (入選)大坪恵子 成田正利 長澤剛 佐藤俊晴 太田秀樹
- ▽1月例会(23日) 中西勉審査員選考)
 - ①成田正利②鳥海政史②山田しげき③大坪恵子③佐藤俊晴③山田清滋 (入選)大坪恵子 成田正利 太田秀樹 玉木英雄

恵庭 支部長 西澤 實

- ▽12月例会(8日) 審査員選考)
 - ①目黒健②服部健治③佐野ミヨ③五東建夫⑤西澤實⑥加藤憲秋⑥吉村剛⑥今莊義弘⑧村井正人⑧小坂橋勝一
- ▽2月例会(9日) 審査員選考)
 - ①西澤實②畑の番人①五東建夫①吉村登美子④加藤憲秋⑤山下支朗⑤吉村剛⑤目黒健⑤服部健治⑩田中康夫⑩佐野ミヨ



2月例会 1位「畑の番人」(モノクロ)西澤實

小樽 支部長 川原静雄

- ▽3月例会(9日) 審査員選考)
 - ①目黒健②田中康夫②五東建夫④山下支朗④吉村剛④村井正人⑦服部健治⑦今莊義弘
- ▽1月例会(7日) 瀧野邦保審査員選考)
 - ①高橋省三②撮影日和②松居秀昭③小林好江④嵯峨秋雄



1月例会 1位「撮影日和」(カラー)高橋省三

- ▽3月例会(4日) 本郷正利審査員選考)
 - ①白石純②高橋省三③一条周一④成沢克朗⑤嵯峨秋雄⑥松居秀昭⑦小林好江

釧路 支部長 岡本雄毅

- ▽1月例会(15日) 佐藤武治審査員選考)
 - ①蝦名昇①ナイスキャッチ②松坂正彦③林田定昭④長尾芳文⑤北構善一郎⑥浅海信一



1月例会 1位「ナイスキャッチ」(カラー)蝦名昇

- ▽3月例会(12日) 奥野時夫審査員選考)
 - ①大里清志②林田定昭③松坂正彦④千葉弘子⑤北構善一郎⑥長尾芳文

三笠 支部長 伊藤修身

- ▽撮影会コンテスト(11月21日) 加賀屋重雄審査員選考)
 - (推薦)古平文男「ひとまたぎ隧道」(特選)澤田住子 高橋英昭(準特選)石橋昭次郎 谷内純哉 伊藤修身(入選)古平文男 澤田住子 高橋英昭 石橋昭次郎



11月撮影会 1位「ひとまたぎ隧道」(カラー)小平文男

- ▽1月例会(30日) 審査員選考)
 - ①③澤田住子②⑥古平文男⑤金武紀雄⑥谷内純哉
- ▽平成26年度賞)
 - ①澤田住子②古平文男③金武紀雄④伊藤修身⑤高橋英昭

余市 支部長 金子勝彦

- ▽12月例会(13日) 審査員選考)
 - ①②石岡誠②③④金子勝彦③⑦谷橋準一⑤⑦塩野謙造⑥⑧丹野光雄⑦⑨後藤好江⑦⑨谷橋誠子⑧二戸弘利
- ▽1月例会(17日) 審査員選考)
 - ①②石岡誠②③⑧谷橋準一⑤⑨二戸弘利⑥⑩金子勝彦⑦⑧青木延広⑩⑪谷橋誠子
- ▽2月例会(1日) 審査員選考)
 - ①⑤丹野光雄②③石岡誠②⑩塩野謙造③④金子勝彦⑦⑩青木延広⑧⑧二戸弘利

栗山 支部長 黒田幸則

- ▽1月例会(13日) 山岸幸雄審査員選考)
 - ①②齋藤優子③③中島武士 (入選)中島武士 齋藤優子

岩見沢 支部長 尾崎和男

- ▽10月例会(8日) 審査員選考)
 - ①沢田行子②鈴木佳夫③友広茂夫
- ▽11月例会(12日) 審査員選考)
 - ①鈴木佳夫②友広茂夫③木村克巳
- ▽1月例会(14日) 審査員選考)
 - ①友広茂夫②田中克彦③松田市郎

留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽12月例会(7日) 審査員選考)
 - ①③畑忠幸②④川上正巳
- ▽1月例会(18日) 審査員選考)
 - ①高山亮太②④川上正巳③松葉師正
- ▽2月例会(15日) 審査員選考)
 - ①②川上正巳②崎出恒夫③高山亮太④④畑忠幸
- ▽3月例会(8日) 審査員選考)
 - ①畑忠幸②⑤川上正巳③澤岡政江④高山亮太

編集後記 第62回写真道展に入賞、入選された皆様おめでとうございます。次号は8月を予定しております。 森田